

市民総参加のまちづくり 令和元年度の取組状況



岡谷市の高ボッチ高原から見た「富士山」

■目 次■

- ・ 審議会の開催状況…………… 1 ページ
- ・ 令和元年度の取組状況 ～まとめ～ …… 3 ページ
- ・ 子ども会議の開催状況…………… 4 ページ
- ・ 意見提出手続(パブリックコメント)の実施状況…………… 5 ページ
- ・ 生涯学習の機会の活用状況…………… 7 ページ
- ・ 市民総参加による事業の実施状況…………… 8 ページ
- ・ その他の取組状況…………… 18 ページ

【発行】岡谷市 企画政策部企画課

電 話 (0266) 23-4811

F A X (0266) 24-0689

e-mail kikaku@city.okaya.lg.jp

◆審議会（法令又は条例に基づく附属機関）の開催状況（開催回数の「0」は委員の委嘱を行っているが会議を開催していない、「-」は委員の委嘱を行っていない）

名称	所管課	根拠法令 名称	市の設置条例・規則等	概要	委員数					公開		開催数		
					男	女	合計	うち公募	女性比率	会議	会議録	H29	H30	R01
岡谷市男女共同参画審議会	企画課	なし	岡谷市男女共同参画条例	男女共同参画に関する基本的かつ重要事項の調査・審議	8	6	14	3	42.9%	●	●	3	2	7
岡谷市基本構想審議会	企画課	なし	岡谷市総合計画の策定に関する条例	基本構想・基本計画に関する審議	16	4	20	3	20.0%	●	●	-	9	2
岡谷市行政改革審議会	行政管理課	なし	岡谷市行政改革審議会条例	行政改革の推進に関する重要事項の調査・審議	8	6	14	4	42.9%	●	●	3	6	3
岡谷市公の施設指定管理者選定等審議会	行政管理課	なし	岡谷市公の施設の指定管理者の指定の手続等に関する条例	指定管理者の選定に関する審議及び管理運営に対する検証・助言	3	2	5	-	40.0%	一部 ×	一部 ×	3	5	4
岡谷市住居表示審議会	総務課	なし	岡谷市住居表示審議会条例	住居表示整備に関する調査・審議	-	-	0	-	-	●	×	-	-	-
岡谷市特別職報酬等審議会	総務課	なし	岡谷市特別職報酬等審議会条例	議員報酬額・理事者給与額に関する審議	-	-	0	-	-	×	×	-	-	-
岡谷市公務災害補償等認定委員会	総務課		議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例	非常勤職員の公務災害の認定に対する意見・助言	2	3	5	-	60.0%	●	×	0	0	0
岡谷市公務災害補償等審査会	総務課	地方公務員災害補償法第70条	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例	非常勤職員の公務災害の認定等に関する不服申立に関する審査	-	-	0	-	-	×	×	-	-	-
岡谷市情報公開・個人情報保護審査会	総務課	行政不服審査法	岡谷市情報公開条例、岡谷市個人情報保護条例	公文書及び個人情報の開示決定等に関する不服申立について調査・審議 個人情報保護制度に対する建議	3	2	5	-	40.0%	×	×	0	0	0
岡谷市退職手当審査会	総務課	なし	岡谷市職員の退職手当に関する条例	職員の退職手当の支給制限に関する調査審議	-	-	0	-	-	×	×	-	-	-
岡谷市賞じゅつ金等審査委員会	消防課	なし	岡谷市消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例	賞じゅつ金・殉職者特別賞じゅつ金の授与に関する審査	4	2	6	-	33.3%	●	×	0	0	0
岡谷市防災会議	危機管理室	災害対策基本法第16条	岡谷市防災会議条例	地域防災計画の作成・実施推進、市内の災害に関する情報収集、水防に係る重要事項の調査・審議	26	3	29	-	10.3%	●	×	1	1	1
岡谷市国民保護協議会	危機管理室	武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律第39条	岡谷市国民保護協議会条例	国民保護措置に関する重要事項の審議	26	3	29	-	10.3%	●	×	1	1	1
岡谷市国民健康保険運営協議会	医療保険課	国民健康保険法第11条	岡谷市国民健康保険条例、岡谷市国民健康保険運営協議会規則	国民健康保険事業の運営に関する重要事項の審議	9	2	11	-	18.2%	●	●	7	4	5

◆審議会（法令又は条例に基づく附属機関）の開催状況（開催回数の「0」は委員の委嘱を行っているが会議を開催していない、「-」は委員の委嘱を行っていない）

名称	所管課	根拠法令 名称	市の設置条例・規則等	概要	委員数					公開		開催数		
					男	女	合計	うち公募	女性比率	会議	会議録	H29	H30	R01
岡谷市環境審議会	環境課	環境基本法第44条	岡谷市環境基本条例	環境保全に関する基本的事項の調査・審議	12	3	15	4	20.0%	●	×	1	2	4
岡谷市人権擁護審議会	社会福祉課	なし	岡谷市人権擁護に関する条例	人権擁護に関する施策の調査・審議	6	2	8	-	25.0%	●	●	1	1	1
岡谷市民生委員推薦会	社会福祉課	民生委員法第5条～第8条	岡谷市民生委員推薦会規則	民生委員の推薦	12	2	14	-	14.3%	×	×	0	1	2
岡谷市災害弔慰金支給審査会	社会福祉課	災害弔慰金の支給等に関する法律第18条	岡谷市災害弔慰金の支給等に関する条例	市長の諮問に応じ、災害弔慰金及び災害障害見舞金の支給に関する事項の調査審議	-	-	-	-	-	×	×	-	-	0
岡谷市子ども・子育て支援審議会	子ども課	子ども・子育て支援法第77条第1項	岡谷市子ども・子育て支援審議会条例	法77条第1項各号の事務のほか、子育て支援施策全般	8	7	15	1	46.7%	●	●	2	2	5
岡谷市勤労青少年ホーム運営審議会	工業振興課	なし	岡谷市勤労青少年ホーム運営審議会条例	岡谷市勤労青少年ホームの運営に関する重要事項の調査・審議	3	1	4	0	25.0%	●	×	0	0	0
岡谷市都市計画審議会	都市計画課	都市計画法第77条の2第1項	岡谷市都市計画審議会条例	都市計画法による権限に基づく事項・都市計画に関する事項の調査・審議	10	5	15	2	33.3%	●	×	-	-	1
岡谷市上下水道事業運営審議会	水道課	なし	岡谷市上下水道事業運営審議会条例	上下水道事業の運営、経営に関する審議	4	4	8	2	50.0%	一部 ×	一部 ×	0	3	2
岡谷市就学支援委員会	教育総務課	なし	岡谷市就学支援委員会条例	障がい等で特別な支援を必要とする児童生徒等の就学及び教育支援	10	4	14	-	28.6%	×	×	6	6	6
岡谷市いじめ問題対策連絡協議会	教育総務課	いじめ防止対策推進法	岡谷市いじめ問題対策連絡協議会条例	いじめ防止等に関する機関及び団体相互の連絡調整、当該機関及び団体の連携の推進のために必要な事項を協議	10	2	12	-	16.7%			0	2	2
岡谷市いじめ問題対策調査委員会	教育総務課	いじめ防止対策推進法	岡谷市いじめ問題対策連絡協議会条例	いじめ防止等のための対策を実効的に行うための調査研究、重大事態にかかる事実関係の調査審議	3	2	5	-	40.0%			0	1	1
岡谷市社会教育委員	生涯学習課	社会教育法第15条	岡谷市社会教育委員設置条例	社会教育に関する諸計画の立案、必要な研究・調査、教育委員会への意見提言、関係者への助言	6	4	10	0	40.0%	●	×	5	7	7
岡谷市文化財保護審議会	生涯学習課	文化財保護法第190条	岡谷市文化財保護条例	指定文化財の保存・活用に関する重要事項の調査・審議	6	0	6	-	0.0%	●	×	-	1	-
岡谷市青少年問題協議会	生涯学習課 (生涯学習活動センター)	地方青少年問題協議会法第1条	岡谷市青少年問題協議会条例	青少年の指導・育成・保護・矯正に関する重要事項の調査・審議・関係団体との連絡調整	20	5	25	0	20.0%	●	×	1	1	1

■ 市民総参加のまちづくり 令和元年度の取組状況 ～まとめ～

取組み	取組みの内容	開催状況等
【調査票①】 市民懇話会等の開催状況	「審議会」に記載されていない、知識経験者などからの意見を目的とする各種会議	0 件
【調査票②】 子ども会議の開催状況	小中学生がまちづくりについて意見・提言を発表する場として開催する会議等	1 事業
【調査票③】 意見提出手続き(パブリックコメント)の実施状況	「岡谷市意見提出手続実施要綱」に基づき、市の基本的な施策を定める計画の策定時や、市民に義務を課したり権利を制限したりする内容の条例制定時等に、その案を市民に公表し意見を聴取するもの	6 件
【調査票④】 生涯学習の機会の活用状況	「市民総参加のまちづくり」をテーマに行なった講演会や講座等	2 事業
【調査票⑤】 市民総参加による事業の実施状況	市民の皆さんと市との協働による事業等	45 事業
【調査票⑥】 その他の取組状況	調査票①～⑤以外で、「市民総参加のまちづくり」に関する取組事項	13 事業

【評価】

取組んだ事業数については、平成 30 年度合計 69 事業に対して、令和元年度合計 67 事業となり、事業数は減少したものの、第 5 次岡谷市総合計画 前期基本計画 施策 15-1「市民総参加の推進」において成果指標に掲げる「市政懇談会の延べ参加者数」において、令和 5 年度の計画終了時目標 300 人に対して、286 人の参加をいただき、着実に実績を伸ばし、市民のまちづくりへの参加意識のさらなる高揚に繋げることができた。

以上のことから、令和元年度の取組みは、市民総参加のまちづくりを推進する上で相当効果があったと評価する。

◆調査票② 子ども会議の開催状況

会議等名称	開催日、会場	主な参加者	会議の内容等	担当課
Voice of AOKS (高校生まちづくり会議)	令和元年4月26日 ～令和2年3月17日 計11回	岡谷南高等学校 岡谷東高等学校 岡谷工業高等学校 延べ参加者数：84人	市内3高等学校の有志による高校生まちづくり会議を開催し、高校生発案によるまちづくりに取り組んだ。 実施内容：SNSによる情報発信 ご当地グルメ開発 公園づくり 全国高校生まちづくりサミット参加、報告	企画課

◆調査表③ 意見提出手続（パブリックコメント）の実施状況

対象とした事案名	実施(公表)期間	公表場所等	意見等提出件数	対応状況等	担当課
男女共同参画おかやプランⅥ(案)	令和元年11月21日(木)～12月23日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所1階 情報公開コーナー ・3支所(湊、川岸、長地) ・駅前出張所 ・市ホームページ 	2件	男女共同参画おかやプランⅥを策定する段階で参考にした。	企画課
第4次岡谷市環境基本計画(案)	令和元年10月4日～令和元年10月31日	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所1階 情報公開コーナー ・3支所(湊、川岸、長地) ・駅前出張所 ・市ホームページ 	無し		市民環境課
岡谷市子ども・若者育成支援計画、第2期岡谷市子ども・子育て支援事業計画(案)	令和元年11月21日～令和2年1月15日	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所1階 情報公開コーナー ・3支所(湊、川岸、長地) ・駅前出張所 ・市ホームページ 	2件	岡谷市子ども・若者育成支援計画、第2期岡谷市子ども・子育て支援事業計画を策定する段階で参考にした。	子ども課
岡谷市温泉事業経営戦略(案)	令和元年11月19日～12月18日	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所1階 情報公開コーナー ・3支所(湊、川岸、長地) ・駅前出張所 ・市ホームページ 	無し		水道課
岡谷市生涯学習推進計画(案)	令和元年12月25日～令和2年1月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所1階 情報公開コーナー ・3支所(湊、川岸、長地) ・駅前出張所 ・生涯学習活動センター ・岡谷市民総合体育館 ・市立岡谷図書館 ・市ホームページ 	無し		生涯学習課

◆調査表③ 意見提出手続（パブリックコメント）の実施状況

対象とした事案名	実施(公表)期間	公表場所等	意見等提出件数	対応状況等	担当課
はつらつ岡谷スポーツプラン(第2次岡谷市スポーツ推進計画) (案)	令和元年12月25日～ 令和2年1月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所1階 情報公開コーナー ・3支所(湊、川岸、長地) ・駅前出張所 ・生涯学習活動センター ・岡谷市民総合体育館 ・市立岡谷図書館 ・市ホームページ 	無し		スポーツ振興課

◆調査表④ 生涯学習の機会の活用状況

講座名等	開催時期	開催場所等	参加者数等	主な内容等	担当課
まちづくり講座 「住まいの上手なしま い方・賢い選び方 ～令和時代の住まいと まちを考える～	令和2年2月1日(土)	カノラホール (小ホール)	54名	空き家の発生を事前に予防し、次の使い手に引き継ぐ住 まいのしまい方やこれからの住まいの選び方などを学ぶ ため専門家による講演やパネルディスカッションを行っ た。	都市計画課
空きない未来プロジェ クト 空き家見学会	平成31年4月27日(土) 令和元年7月20日(土)	中心市街地(本町、中 央町、幸町等)の空き 家	延べ13名	建築士、不動産業者、商工会議所と連携したプロジェク トチーム「空きない未来プロジェクト」として実施。 中心市街地の空き物件のうち、通常の不動産流通では扱 わない物件を公開し、活用希望者を募った。	都市計画課

◆調査票⑤ 市民総参加による事業（市民の皆さんと市との協働による事業）の実施状況

事業名	令和元年度の実施状況	今後の取組、協力していただきたいこと		担当課
男女共同参画週間 パネル展	<p>男女共同参画に関する意識啓発を図るため、「男女共同参画週間」において、「男女共同参画推進市民の会」との協働により、パネル展示とポケットティッシュの配布を行った。</p> <p>期間：令和元年6月21日～7月1日</p> <p>場所：イルフプラザ1階中央通路</p>	継続実施	「男女共同参画推進市民の会」との協働により男女共同参画を更に推進する。	企画課
「広報おかや」等での取材・出演協力	「広報おかや」や「シルキーチャンネル」等において、記事内容の取材や番組出演に協力いただいた。	継続実施	市政への理解と関心を深めていただくよう引き続き、積極的な市民参加をお願いしていく。	秘書広報課
大規模災害時における自主自衛消防活動	<ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 消防団の出動状況 火災 6 件、風水害 2 件、演習訓練 118 件、広報指導 21 件、警防調査 114 件、特別警戒 29 件、捜索 0 件、その他 98 件 合計 388 件 ・自衛消防隊消防操法大会（令和元年9月29日） ・自主防災組織、防火クラブ、自衛消防隊、企業等へ出向いての消防訓練指導 12 件 	継続実施	大規模な自然災害においては、同時多発する災害や被災地区の孤立等により消防力の低下が考えられる。そのため岡谷市消防団装備の充実による災害対応力の強化、各地域における自主防災組織、防火クラブ、自衛消防隊の指導育成が一層重要である。併せて市民一人ひとりに常に主体的な防災意識を持っていただけるよう、更に広報・訓練指導の機会を増やしていく。	消防課
自主防災活動	<ul style="list-style-type: none"> ・岡谷市自主防災組織連絡協議会において、「防災とボランティア週間」期間中の1月18日に、災害伝承10年プロジェクト事業（消防庁）を活用し、宮城県仙台市より東日本大震災を経験した方を講師に防災講演会を開催し、自主防災組織相互の連携を促進し、地域防災力の強化を図った。 ・防災用資機材の購入に対する補助金交付を行った。 ・5月19日（日）に諏訪建設事務所の職員を講師に消防団。自主防災組織、市の職員と水防訓練を行った。 	継続実施	市民一人ひとりが、日常生活の延長として、防災・減災について考える（自助）。	危機管理室

◆調査票⑤ 市民総参加による事業（市民の皆さんと市との協働による事業）の実施状況

事業名	令和元年度の実施状況	今後の取組、協力していただきたいこと		担当課
交通安全街頭指導	交通安全親の会、小学校PTA、各区の指導員により、通園・通学路や交差点での街頭指導を随時行った。 岡谷交通安全協会では、毎月の無事故無違反デー及び各季節の交通安全運動に街頭指導を行うとともに、夜光反射材の啓発に特化した街頭指導（「ピカピカペタンコ作戦」）を実施した。	継続実施	積極的に市民の皆さん（特に岡谷交通安全協会、交通安全親の会、PTA等）に交差点、横断歩道付近等で街頭指導の協力をお願いする。 また、夜間における歩行者の交通事故を防止するため、夜光反射材の普及・啓発を進める。	市民環境課
環境保全の実践	新聞、広報による環境保全啓発。環境家計簿の配布。緑のカーテンによるCO ₂ 削減対策の推進、岡谷子どもエコクラブによる環境学習、ライトダウンキャンペーン参加への呼びかけ、環境セミナーの開催等により環境保全に対する市民意識の高揚を図った。	継続実施	「環境市民会議おかや」等の各種団体や市民との協働により環境保全を更に推進する。	市民環境課
ヒシ除去 アレチウリ駆除	環境市民会議おかや、諏訪湖漁業協同組合、岡谷市の協働で諏訪湖のヒシ除去を実施した。（参加者150名、除去量5t） ヒシ除去に合わせ、諏訪湖畔のアレチウリ駆除の実施及び天竜川ゆめ会議と連携し、天竜川流域のアレチウリ駆除活動を実施した。 アレチウリ駆除活動に必要な消耗品を支給し、市民の駆除意識の高揚を図った。	継続実施	ヒシ除去については、さらに多くの市民、団体に参加をお願いしていきたい。 河川敷等に繁殖するアレチウリの駆除について、市民・学校・各区・事業所・その他ボランティア団体等による自主的な取り組みなどをお願いしていきたい。	市民環境課
可燃・不燃ごみの 減量と資源化推進	前年度と比較し、燃やすごみは1.6%の増、埋立ごみは2.5%の増となった。リサイクル率は15.40%、市民一人1日当りのごみ量は715.2gとなっている。	継続実施	ごみの分別、出し方について市民一人ひとりが今一度見直し、分別の徹底を更にお願ひし、資源化とごみ減量を図っていきたい。	市民環境課
諏訪湖及び河川 清掃	小・中学生、ボランティア団体及び衛生自治会により、諏訪湖畔と市内を流れる河川等の清掃を実施した。 参加人数 5/26 諏訪湖及び河川一斉清掃：約3,300名 9/24～10/1 環境衛生週間（河川や公園の清掃）：約1,800名 10/20 諏訪湖周一斉清掃：約1,200名	継続実施	更に多くの市民等の参加をお願いしていきたい。	市民環境課

◆調査票⑤ 市民総参加による事業（市民の皆さんと市との協働による事業）の実施状況

事業名	令和元年度の実施状況	今後の取組、協力していただきたいこと		担当課
岡谷エコフェスティバル	岡谷エコフェスティバル2019 開催 日 時：令和元年11月17日（日） 午前10時～午後3時 場 所：ララオカヤ2階特設会場、テクノプラザおかや大研修室 参加団体：44団体 参加者：約2,000名	継続実施	環境啓発活動としての岡谷エコフェスティバル開催に、市民、環境団体、事業者、高校、大学の協力をお願いしていきたい。	市民環境課
サンデーリサイクル事業	市民の利便性と資源物リサイクルの推進を図るため、関係団体の協力を得て、月1回原則最終日曜日に市内スーパー駐車場で資源物の回収を行った。 開催数 12回 資源物回収量 29,540kg（小型家電、硬質プラを除く）	継続実施	市民・事業者・行政が一体となって取組みを行う。	市民環境課
小型家電試験回収事業	小型電子機器の再資源化を図るため、サンデーリサイクル事業の日程に合わせて試験回収を行った。 開催数 4回 回収量 22,640kg	廃止	市民・事業者・行政が一体となって取組みを行う。	市民環境課
硬質プラスチック試験回収事業	燃やすごみとして扱っている硬質プラスチックの再資源化を図るため、サンデーリサイクル事業の日程に合わせて試験回収を行った。 開催数 4回 回収量 6,420kg	継続実施	市民・事業者・行政が一体となって取組みを行う。	市民環境課
もったいない啓発事業	循環型社会の形成推進を図るため、「もったいない食器市」の開催など、各種の意識啓発活動を行った。	継続実施	「生涯学習出前講座」や「小さな学習会」などを継続的に実施するため、積極的な参加をお願いする。	市民環境課

◆調査票⑤ 市民総参加による事業（市民の皆さんと市との協働による事業）の実施状況

事業名	令和元年度の実施状況	今後の取組、協力していただきたいこと		担当課
岡谷市避難行動要支援者避難支援事業	<p>各区、民生委員の協力により、岡谷市災害時要援護者避難支援プランに基づき全市的に避難行動要支援者避難支援体制づくりを開始し、関係機関で避難行動要支援者登録制度に登録している者の最新の情報の共有を図った。</p> <p>また災害時における円滑な避難支援を行なう為、統合型GISにより区内（町内）の要援護者の位置情報をマップ化し、各区、民生委員へ配布した。</p> <p>さらに避難行動要支援者の未登録者へ勧奨する際に、制度を分かりやすく理解してもらうようチラシを作成・配布した。</p>	継続実施	各区に対して避難行動要支援者台帳の最新情報を提供するとともに、各区の実情に合わせた避難行動要支援者避難支援体制づくりをお願いしていく。	社会福祉課 介護福祉課 危機管理室 消防課 秘書広報課
要援護高齢者等の地域での見守り	<p>緊急時対応のため、民生児童委員を通じ、高齢者台帳を整備し、各地区の協力員による見守り安心ネットワーク事業を実施した。</p> <p>また、郵便事業株式会社岡谷支店、岡谷市内新聞販売所、岡谷生鮮市場、配食サービス事業所の協力を得て、ひとり暮らし高齢者等の安否確認を実施した。</p> <p>見守り安心ネットワーク登録者数 1,576 人 あったか見守りネットワーク協定事業者数 11 社</p>	継続実施	普段の生活の中での見守りを行い、対象者宅の緊急事態の発生時には民生児童委員や市等に速やかに連絡をいただくとともに、引き続き要援護高齢者の見守りを実践するようお願いしていく。	介護福祉課
地域リハビリテーション活動支援事業	<p>・市民・団体等の住民ニーズに沿った内容で、保健師等の専門職が介護予防教室を開催した。</p> <p>参加グループ数：8グループ 登録人数：61人</p>	継続実施	市民・団体等からの要望により、各種教室を行い介護予防に繋げる。	介護福祉課
地域介護予防活動支援事業	<p>・運動機能の向上を中心とした介護予防全般について、これまで養成してきたボランティアの地域の教室等への派遣を実施した。</p> <p>ボランティア延べ派遣人数 8名</p> <p>・各地区の高齢者の介護予防のための生きがいデイサービスについて、地区活動援助員とボランティアに協力していただき、実施した。</p> <p>地区活動援助員 88人 ボランティア参加延べ人数 1,840人</p>	継続実施	・今後もこれまで養成してきた運動機能の向上等に関わるボランティアの活躍の場作りを推進し、地域における介護予防活動への協力をお願いしていく。また地区活動援助員やボランティアへ協力をお願いし、高齢者の介護予防に努めていく。	介護福祉課

◆調査票⑤ 市民総参加による事業（市民の皆さんと市との協働による事業）の実施状況

事業名	令和元年度の実施状況	今後の取組、協力していただきたいこと		担当課
保育園園舎清掃、除草等整備	保育園敷地内の環境整備等について、保護者に協力していただき実施した。 ・回数 延べ29回	継続実施	児童が気持ちよく保育園生活が送れるよう、保護者の方と協議しながら、協力が得られる範囲でお願いしたい。	子ども課
保育園通園路及び園内、保護者送迎用駐車場の除雪事業	保育園の通園路等の除雪を保護者に協力していただき実施した。 ・回数 延べ6回	継続実施	児童の安全確保のため、引き続き除雪の協力をお願いしたい。	子ども課
「こどものくに」事業へのボランティアの参加	・「ちいさいおはなしたまご」で毎週土曜日、ボランティアによる読み聞かせ。(31回実施) ・「大きなおはなしたまご」毎月第3金曜日に1回行ない、読み聞かせ、パネルシアター、手遊び、ピアノ演奏など。(10回実施) ・こどものくにを利用しているグループによる季節のミニコンサート。(4回実施) ・子どもとの遊びでの関わりや、見守り。	継続実施	今後も継続して実施していきたい。	子ども課
保健委員会活動	地域の健康づくりの核となる保健委員会が中心となり、市民一人ひとりが健康のことを考え、健康づくりを実践していけるように、各種講座、講演会等を行った。 ・いきいき健康学習 回数 延べ418回 参加人数 延べ7,632人	継続実施	常日頃より自分の健康に関心を持ち、「自分の健康は自分で作り守る」大切さについて地域で声をかけあい、健康意識を高めていく。 市の健康診査の周知や健康に関する事業への参加、健康に関する情報の周知啓発等を、広く区民、市民に声かけをしていく。	健康推進課
食生活改善推進協議会活動	「私達の健康は私達の手で」を合言葉に、地域の食生活改善を推進し、健康増進、食育を中心とした活動を行った。 学習会、理事会等：回数 延べ32回 参加人数 延べ350人 料理講習会等：回数 32回 参加人数 延べ1,102人	継続実施	市民一人ひとりが健全な食生活を実践していけるよう、食を通じた健康づくりや食育を推進するため、会員を増やすとともに、地域における食生活改善活動の担い手として積極的な活動の継続実施をお願いしたい。	健康推進課

◆調査票⑤ 市民総参加による事業（市民の皆さんと市との協働による事業）の実施状況

事業名	令和元年度の実施状況	今後の取組、協力していただきたいこと		担当課
岡谷市民健康づくりのつどい	岡谷市民健康づくりのつどいの開催(おかやエコフェスティバルとの同時開催) 日 時: 令和元年 11 月 17 日(日) 午前 10 時～午後 3 時 場 所: ララオカヤ 2 階特設会場 参加者: 約 2,000 名	継続実施	市民がつどいへの参加を通じて、自らの健康づくりを考える機会とするため、隔年で継続実施していくが、他のイベントと同時開催とすることで多くの市民が参加できる事業とする。	健康推進課
シルキーバス、スワンバスの停留所の雪かき協力事業	積雪等により、合計 3 日間停車できないバス停があったため、市民の方々の協力のもと停留所の運休の札かけや雪かきを行った。	継続実施	積雪時、地域住民による除雪作業の際にバス停留所の除雪をあわせて行っていただきたい。 又、運休時の札かけをお願いしたい。	商業観光課
イルフ童画館「はらっぱ」企画事業	イルフ童画館 1 階絵本ライブラリー「はらっぱ」は、子どもから大人まで、自由に絵本を読んだり遊んだりできる童画館の中庭的空間となっており、工作や絵本の読み聞かせをはじめ、幅広い内容で様々な世代が参加できるワークショップやイベントを開催するなかで、多くの市民に補助的なご協力と参加をいただいた。	継続実施	イルフ童画館で開催するイベントやワークショップ、展示会の案内などをサポートしてくれるボランティア（イルフサポーター）を募集し、補助的な協力をお願いする。	ブランド推進室 (イルフ童画館)
2019 シルクフェア in おかや	蚕糸博物館（シルクファクトおかや）をメイン会場に、市内に点在する民間を含めた製糸関連施設や地元地域の皆さんと協力・連携しシルクフェアを開催した。「岡谷近代化産業遺産を伝える会」の皆さんの協力を得て、近代化産業遺産巡りツアーなどを実施した。 ・平成 31 年 4 月 29 日	継続実施	市引き続き、蚕糸業関係者で組織する実行委員会主導の元、市内の製糸関連施設等の資源を活かし、企業等の協力を得て実施していく。	ブランド推進室 (蚕糸博物館)
日本絹文化フォーラム 2019	全国各地よりシルクに関わる方々が集い、絹文化に関する講演や情報交換を行う「日本絹文化フォーラム 2019」を、市内のシルク関連団体により組織された実行委員会が開催し、シルク文化を通じて岡谷の魅力を発信した。	継続実施	引き続き、実行委員会を中心に関係者の協力をいただきながら、岡谷を訪れるお客様を迎える。	ブランド推進室 (蚕糸博物館)

◆調査票⑤ 市民総参加による事業（市民の皆さんと市との協働による事業）の実施状況

事業名	令和元年度の実施状況	今後の取組、協力していただきたいこと		担当課
サポートファーム事業 (研修農園コース)	<p>野菜栽培の知識を身につけたい方などに、農業を気軽に取り組むきっかけとして、野菜づくりの基礎を習得する研修農園を開設した。管理者の指導のもと、自分の区画で野菜づくりを行った。4月～11月の間、月2回の講習会を実施し全18種類の野菜を栽培した。10組23人が受講した。</p> <p>研修農園コース20区画中4区画を、県の定年帰農講座としてシルクスweet栽培を行い、収穫祭では、紹介、販売を行った。</p>	継続実施	<p>研修終了後の受講者に斡旋した市民農園は2年契約のため、その後は「遊休農地貸借促進事業」を活用して「貸したい農地リスト」内にある農地を紹介し、貸借が成立すれば耕作を開始してもらう。</p> <p>徐々に耕作者を増やし、地産地消・遊休農地解消・担い手の確保につなげていく。</p>	農林水産課
都市公園、緑地等の管理	都市公園、児童遊園等について、各区において巡視、除草作業等の全般的な管理をしていただいた。	継続実施	都市公園緑地等について、区沿線住民に除草、清掃等をお願いし、市民参加による管理を推進していく。	土木課
「除雪マニュアル」内の道路除雪	区に除雪への協力内容を説明し、雪かきや塩カル散布を依頼した。	継続実施	行政が実施する除雪には限界があり、行政で対処できない生活道路等は、市民や事業者の組織的な参加と協力をお願いし、地域ぐるみの除雪を促進する。	土木課
生活道路の側溝等の泥上げ	側溝浚渫土砂等運搬では、12地区 延べ23回にわたり実施し、側溝等の溢水防止に努めていただいた。 (花岡区、西堀区、小井川区、新倉区、三沢区、東堀区、岡谷区、小尾口区、下浜区、橋原区、鮎沢区、横川区)	継続実施	道路環境を良好に保持するため、市民参加により日常生活にかかわりを持つ地区内道路の清掃を実施する。	土木課
市民との協働による道路整備	区等からの要望により、コンクリートや碎石等の材料を支給し、地区内の道水路を整備した。(4地区 延べ5回/駒沢区、小井川区、新倉区、湊地区)	継続実施	道路環境を良好に保持するため、市民参加により日常生活にかかわりを持つ地区内道路の整備を実施する。	土木課

◆調査票⑤ 市民総参加による事業（市民の皆さんと市との協働による事業）の実施状況

事業名	令和元年度の実施状況	今後の取組、協力していただきたいこと		担当課
ふれあいたいむ	<p>ふれあいたいむ推進旬間 令和元年5月22日～5月31日 令和元年10月15日～10月24日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・春と秋にふれあいたいむ推進旬間を設け、広報おかや及び行政チャンネル等により事業内容をPRし、市民のより一層の参加に努めた。 ・春季推進旬間には、市長及び教育委員が児童生徒の登校状況を見守り、あいさつをしながらコミュニケーションを図ったり、常に見守り活動をしていただいている地域の人達に感謝と激励を行った。 	継続実施	<p>児童生徒が登校する午前7時から8時まで、下校する午後3時から5時までの時間帯に、地域の住民の方々に通学路を中心として散歩、ジョギング、清掃、除草等、屋外の作業を行っていただき、子どもたちとあいさつを交わしながらコミュニケーションを図り、不審者や交通事故等から子どもたちの安全を守っていただく。</p> <p>地域の見守りボランティアが固定化している傾向にあるため、新しいボランティア人材の参画を図りたい。</p>	教育総務課
小中学校通学路等の除雪、構内整備	通学路等の除雪を小中学校PTAで実施した。	継続実施	これからは地域に開かれた学校づくりを進めていくことが重要となってくるため、岡谷版コミュニティスクールを推進し、学校支援ボランティアの充実を図っていきたい。	教育総務課
学童クラブへのボランティア参画事業	<ul style="list-style-type: none"> ●高校生ボランティア <ul style="list-style-type: none"> ・内容：学童クラブの運営補助 ・期間：令和元年5月～令和2年2月 ・人数：岡谷東高校ボランティアサークル 13人 ●夏休み読み聞かせボランティア <ul style="list-style-type: none"> ・内容：読み聞かせ、紙芝居、パネルシアター等 ・期間：令和元年7月24日～8月20日 ・回数：110回 ・人数：3団体 延べ117人 ●春休み読み聞かせボランティア 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止 	継続実施	長期休業期間中は学童クラブの利用時間が長くなり、指導員にかかる負担が増えるため、高校生以上の市民ボランティアに積極的に関わってもらえるよう、引き続き事業を実施する。	教育総務課

◆調査票⑤ 市民総参加による事業（市民の皆さんと市との協働による事業）の実施状況

事業名	令和元年度の実施状況	今後の取組、協力していただきたいこと		担当課
放課後子どもの居場所づくり事業	<p>市内全7小学校で、全ての児童を対象に、放課後に学校施設を活用して子どもたちの安全・安心な居場所を設け、地域住民の知識や教養を伝える交流活動等を実施することにより、地域社会の中で子どもたちが心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回数：102回 ・人数：運営スタッフ 191人 	継続実施	<p>事業の企画・実施に主体的に参画してもらうことにより、参画する地域住民の方々の生き甲斐にもつながるため、継続的に事業に関わってもらえる人材の確保に努める。</p>	教育総務課
中学生学童 WORKWORK 体験事業	<p>夏休み期間中に、市内全4中学校の生徒を対象に、学童クラブでの職業体験を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間：令和元年7月25日～8月8日 ・人数：申込19人、延べ参加者47人（187.5時間） 	継続実施	<p>中学生が自主的な活動の中で多くの人と関わることにより、自分の将来を見つめる機会として、引き続き夏休み期間に実施する。</p>	教育総務課
岡谷子ども未来塾 事業	<p>市内全4中学校で、苦手科目の解消や勉強の習慣づけをしたい中学2年生を対象に、教員OBや地域住民などが講師となり、各中学校のパソコン教室の学習支援ソフトを活用して、英語・数学の学習サポートを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回数：56回 ・人数：学習支援員14人 	継続実施	<p>事業の企画・実施に主体的に参画してもらうことにより、参画する地域住民の方々の生き甲斐にもつながるため、継続的に事業に関わってもらえる人材の確保に努める。</p>	教育総務課
学びのおかやサポート事業	<p>地域の教育力を学校教育、社会教育、社会体育の場で活用するため、ボランティア名簿登録者を派遣したほか、広くボランティアの参画を進めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・加入者数 211人 	継続実施	<p>小中学校での総合的な学習の時間・クラブ活動・読み聞かせ・地域パトロール、図書館での活動などへのボランティア参画を依頼する。 また、マナビスタスタッフとして登録してもらうことにより、市民ボランティアとして幅広い活動につなげる。</p>	生涯学習課 (カルチャー)

◆調査票⑤ 市民総参加による事業（市民の皆さんと市との協働による事業）の実施状況

事業名	令和元年度の実施状況	今後の取組、協力していただきたいこと		担当課
文化財活用事業	文化の日や子供の日に際して、文化財を活用した市の事業においてボランティアの協力を求め、旧林家住宅及び旧渡辺家住宅でイベントを行った。また発掘調査出土品の整理を行った。 ・延べ94人	継続実施	文化財を活用した事業を行いその説明・案内や発掘調査出土品整理事業に市民ボランティアの協力を求めていく。	生涯学習課 (美術考古館)
考古展示解説ボランティアガイド	土曜日の午前中 考古展示のボランティアガイドとして林賢先生にご来館いただき、必要に応じて、考古展示の解説を実施している。	継続実施	幅広くPRするとともに、学習会や説明会などの企画も開催する。	生涯学習課 (美術考古館)
読書普及活動事業	図書館に係わる読書活動ボランティア団体である「おはなしいすきポポーの木」を中心に、読書普及活動推進のための読み聞かせ講座及び図書館における行事での読み聞かせ等を実施した。 また、一般業務ボランティアは月末資料整理日や特別整理期間において書架整理、本の装備を実施した。 ・読書活動ボランティア 延べ180人 ・一般業務ボランティア 延べ27人	継続実施	「第3次岡谷市子ども読書活動推進計画」に基づく各施策の参画及び読書活動ボランティア団体による絵本作家などの講演会、団体・個人相互の情報交換、スキルアップ研修などを行っていただき、モチベーションの向上と会員の確保に繋げていただく。一般業務ボランティアについても随時募集し、装備や配架等に関する講習を行い、拡充やスキルアップを図る。	生涯学習課 (図書館)
バレーボールのまちづくり事業	実行委員会を年1回開催した。 第18回岡谷カップ・フレンドシップバレーボール大会(5部門6大会)や、小中学生を対象としたバレーボール教室を開催した。 また、ジュニアチームの育成、支援を行った。	継続実施	バレーボールのまちづくり実行委員会による岡谷カップ・フレンドシップバレーボール大会開催の企画、運営、審判の協力を引き続き推進する。 また、大会準備・当日の運営スタッフの人員が不足しているので、更なる協力を推進する。	スポーツ振興課
スポーツ施設環境整備事業	川岸スポーツ広場、球場、庭球場、スケートボード場については、施設を利用する団体により、草刈り、落葉拾い、清掃を実施した。 また、市民スポーツプラザ(市民総合体育館敷地内)については、利用団体による体育館内清掃を行った。	継続実施	現在の取り組みについては、継続的にしていくとともに、他の施設についても利用団体等のご協力をいただき環境整備の拡大を図る。	スポーツ振興課

◆調査票⑥ その他の取組状況

事業名等	開催時期	開催場所等	参加者数等	主な内容等	担当課
「男女共同参画社会づくり」ポスターコンクール、作品展示	【募集】 令和元年8月26日まで 【表彰】 令和元年9月10日 【展示】 令和元年11月11日～11月25日	【展示場所】 イルフプラザカルチャーセンターロビー	応募数:47点 (小学生27点、中学生20点)	子どもの頃から男女共同参画社会への理解と関心を深めてもらうため、「男女共同参画推進市民の会」との協働により、「男女共同参画社会づくり」をテーマとするポスターコンクールと応募作品の展示を行った。(対象:小学5年生～中学3年生)	企画課
男女共同参画おみや市民のつどい	令和2年1月25日	カノラホール 小ホール	約110名	男女共同参画社会の実現に向けて、市民との協働による意識啓発を行うため、実行委員会の企画立案・運営による講演会等を実施した。 テーマ:だれもが自分らしく生きる、共生の地域づくり 内容:①Voice of AOHS 高校生の考えるまちづくり活動発表 ②女性団体交流展示、販売 ③男女共同参画社会づくりポスターコンクール入賞作品展示 講演: 田中 俊之さん(大正大学 心理社会学部准教授)	企画課
パートナーシップ講座(県共催)	令和元年7月22日	イルフプラザ	42名	「男女共同参画推進市民の会」と協働により、男女共同参画に関する講座を実施した。	企画課
市民提案ボックス(市長への手紙)	通年	市内11箇所	—	市民だれもが市長に提言できる「市民提案ボックス」を常設したほか、ホームページから市民の意見・要望等を取り入れた。 ・提案ボックス:31件 ・ホームページからの意見、要望、質問:367件 (内訳:市長Eメール25件、各課宛342件)	秘書広報課
市政懇談会	令和2年 2月10日～15日	市内5箇所	286名	令和2年度 予算(案)から重点施策を中心に懇談会を実施した。	秘書広報課
災害復旧現場市民見学会	令和元年7月20日	土砂災害危険溪流	18名	河川改修工事や砂防えん堤など市内4箇所の見学会を実施し、防災意識の高揚を図った。	危機管理室

◆調査票⑥ その他の取組状況

事業名等	開催時期	開催場所等	参加者数等	主な内容等	担当課
平成18年7月豪雨災害パネル展	令和元年7月18日～ 令和元年7月25日	レイクウォーク岡谷	—	平成18年7月の豪雨災害の記憶を風化させないための豪雨災害のパネル展を実施した。	危機管理室
市民とあゆむまちづくり講座	通年		1,747名	「平成18年7月豪雨災害について」や「防災対策」などの内容を中心に計47回の講座を実施した。	危機管理室
防災とボランティアパーク	令和元年1月16日～ 令和元年1月21日	諏訪湖ハイツ	—	阪神淡路大震災を教訓に設けられた「防災とボランティア週間」に、平成18年7月豪雨災害の経験を踏まえ、防災・ボランティア関連の広報・啓発の推進と、災害に対する備えの充実強化を図った。	危機管理室
防災・減災関連図書コーナー	令和元年6月29日～ 令和元年7月25日	図書館	—	図書館と連携し、テーマBOOKS「忘れまじ豪雨災害」のもと防災関連特設図書コーナー（約80冊）を設置した。	危機管理室
非常食を食べる日の設定	令和元年7月19日	レイクウォーク岡谷	—	備蓄した非常食の賞味期限が切れていることのないように、非常食を食べ補充する基準日として岡谷市防災の日に合わせて設定し、非常食の試食を災害展示パネル会場で実施した。	危機管理室

◆調査票⑥ その他の取組状況

事業名等	開催時期	開催場所等	参加者数等	主な内容等	担当課
市民アンケート調査	令和元年6月7日～ 令和元年6月21日		【対象者】 ①18歳以上の市民 1,000名(無作為抽出) ②事業者300社事業 所(無作為抽出) ③小学5年生、中学 2年生847名 【回答者】 ①339名(33.9%) ②169事業所(56.3%) ③786名(92.8%)	「第4次岡谷市環境基本計画」の策定に向け、市内在住の満18歳以上1,000人、事業者300事業所、市内小学5年生、中学2年生847名を対象に実施し、環境に対する意識や傾向を把握した。	市民環境課
水の探検隊 (岡谷の水源等見学 体験会)	令和元年6月15日	岡谷市役所 各水道施設	39名	全国一斉の水道週間(6/1～6/7)に関連して、水道に対する市民の関心を持ってもらうとともに水の大切さ等の認識を深めてもらうため、小井川浄水場及び内山水源の水道施設並びに給水車の見学等を実施した。	水道課